

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	水産庁漁政部企画課	連絡先	03-3502-8415
所管する業務の概要	水産に関する総合的な政策の企画及び立案に関すること 等		

1. 基本的な心構え・行動

・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
課で作成した問い合わせ等の対応マニュアルやビジョン・ステートメントを踏まえ、意見、要請、苦情等の問い合わせに対して的確な対応を心がけている。	国民から寄せられた意見、要請、苦情等の問い合わせについて、より親切・丁寧・正直に対応することを心がけるとともに、その内容を部署内で共有する。
政策や水産白書を説明する場合には、専門用語を分かりやすく表現することや、アンケートを通じて意見やニーズを収集するなど、水産業について理解が深まるよう努めている。	省全体の政策等の知識を深め、今後も引き続き政策の理解が得られるよう努力していくとともに、急な問い合わせにも対応できるよう、資料等を常備する。

2. 政策・事業等の企画立案・推進

・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
説明の際は、専門用語は分かりやすい表現に変えるなど、簡潔な文章と分かりやすい図表・パンフレット等を用い、様々な機会をとらえて施策を説明している。	引き続き、分かりやすい説明を心がけるとともに、相手が理解できているかどうか逐次注意を払いながら説明を行う。
水産関係の有識者や都道府県等の担当者から、現場の現状・課題について情報収集を行い、政策ニーズ等を把握する取組を続けている。	引き続き、水産関係の有識者や都道府県等の担当者から情報収集等を行うとともに、現場（浜）に出向き関係者に施策の説明をしつつ意見を伺う場を開催し、現場に根付いた政策の企画及び立案を心がける。

3. リスク管理		
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策
課内でヒヤリ・ハット事例を共有し、各職員が業務に潜む危険に対して、危機意識を持ちながら業務を進めている。		ヒヤリ・ハット事例を自らの業務に置きかえて業務の手順の改善に努めるとともに、月に一度、課内会議等の場で、ヒヤリ・ハットの事例が起きていないか意見交換を行う。
	水産業の現状・課題や水産政策について、第三者からの意見・評価を積極的に聞いている。	引き続き、第三者からの意見・評価を積極的に聞き、それを意識した水産政策の企画及び立案を心がける。

4. 食の安全に関する取組		
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策
「食の安全」に関する報道等のチェックや、都道府県等との連絡を取りながら現場の状況の把握に努めるとともに、庁内での「食の安全」確保に係る業務点検に参加し、課としての取組の検討を行っている。		食のリスク管理に関する知識を身につけるとともに、庁内での「食の安全」確保に係る業務点検に基づき、今後の政策の企画及び立案の立場から積極的に関与していくこととする。

5. その他の重要な取組		
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策
職員間でそれぞれが携わっている業務や作業について内容や進捗状況を確認しあうとともに、それぞれの意見が反映されるよう検討を行っている。		引き続き、業務や作業について内容や進捗状況を確認しあい、より効率的・効果的に業務を遂行していけるよう心がける。